

多くの韓国秘訣書の中で最も核心的な預言書としての的中する預言が多く記録されているといわれる『格菴遺録』には '永生の道' と '永生を与える者が正道霊' であるという預言が下記のように記されている。

" 不死永生 鄭鑑録 有智者生無知子死 "

死なず永生する鄭鑑の預言を知る者は生きるが、知らぬ者は死ぬだろう。(『格菴遺録』の“聖山尋路”の中から)

" 東海三神の不死薬は、三代にわたる積徳の家以外には、人の力では求められない。" (同書“弓乙凶歌”の中から)

" 食者永生 三豊之穀 虚妄之説 世人難知 "

食する者が永生する三豊の穀(甘露)を虚妄だと言って、世の人たちは知らない。(“寺畑七斗”の中から)

この他にも、永生に対する預言は、いちいち列挙しきれないほど多く現れる。多くの古書を詳細に研究すればするほど、その主題が一様に永生之道と関連していることがわかる。

即ち、その永生を唱えて出現する者が“正道霊”であるが、“韓民族が多くの苦しい受難を経たのち、二十世紀後半に至り天の道を教える“正道霊”が現れて不老不死の地上仙国を建設せんとしているが、その地上仙国に入ることの出来る人は心の正しい(三人一タ：修)潔い人だけが入ることができる”というのである。

これらの古書は「永生学」を強力に支持する参考文献になるわけだが、果たして、その予言がどれほど信憑性があるのか、それとも抽象的で漠然としたものか、はたまた、具体的に確実性があるものか等々、幾つかの例をあげて調べてみることにする。

いまから約五〇〇年前の預言書

<p>격암유록 新 해설</p> <p>수정판 제 2회</p>
----------------------------------

### 1. 남사고비결 南師古秘訣

鷄龍山上甲乙閣 계룡산상갑을각
世人不知雙宮理 세인부지쌍궁리
天下萬民解冤世 천하만민해원세
渡海移山海印理 도해이산해인리
天下人民神判機 천하인민신판기
四口合體全地理 사구합체전전리
黃庭經讀丹心圖 황庭경독단심전
四方中正從金理 사방중정종금리
日月無光不夜城 일월무광불야성

마귀를 이기신 하나님! 좌정한 이 분이 천하 만민을 해원시켜주고 있건만 세상 사람들은 이를 모르고 있구나. 쌍궁은 궁궁이다. 배궁(背宮)이면 백심승이요 화궁(弔宮)이면 장인(匠人) 궁(工)자이다. 즉 신궁(神工)이다. 바다를 건너고 산을 옮기는(사람의 마음을 변화시키는) 능력이 있는 해인은 하나님의 신(정도령)이 천하 만민을 심판하는 기기이다. 입 구(口)자 가 네 개이면 온전한 발 전(田)가 되는데 전(田)의 이치는 황정경을 정성들여 읽는 마음을 뜻하는 심전(心田)이다. 황(纒)은 토(土)를 의미하고 하나님 자리이다. 또한 황(黃)자 속에 전(田)자가 있다. 사방이 모두 똑 바른 하나님의 마음 발인 전(田)은 금운을 좇아 나오시니 그 곳은 해와 달이 없어도 밝고 밝은 광채가 빛나서 밤이 없는 곳이니라.

落盤四乳十字理 낙반사유십자리
死中生生完然覺 사중구생완연각

『格菴遺録』には、朝鮮王朝が亡びた一九一〇年、「庚戌国恥にあう」ことを詳細に預言しているかと思えば、電話・汽車・飛行機・地下鉄等、現代の文物が殺到することや、三十八度線が引かれ左翼と右翼が対峙することを詳細に記録してある。

" 隆四七月 梨花落 白狗身 蟬鳴時 "

隆熙四年七月に梨花が落ちるということは、朝鮮王朝の王権を意味している。白狗の白色からみて、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・申の「庚」に該当し、「狗」は戌を隠蔽するときによく書く方法で、「白狗」は庚戌年を意味しているのである。李氏王朝が亡びる時は庚戌年の蟬が鳴くときとっているから、余りにも正確に適中した予言であるわけである。

また、次の予言は実に面白い表現である。

" 無面相語 万国語 金糸千里人言来 "

顔も見ずに話し合い、金の糸で千里の距離でも人の話が伝わる。これは電話を指していることは誰でもわかるだろう。

" 空中行船 風雲隼 赤旗如雨 白鶴飛 "

空中を船が行くが、風の如く速く、赤い旗が雨の如く、白鶴が飛び如し。これは飛行機を描写したものである。

### 3. 正道霊の出現

このように、『格菴遺録』をはじめ多くの古書では、韓民族に起きる諸々の出来事を予言しながら、その中で最も

## 新しい時代

力点を置いて強調していることは“この地に一人の偉大な聖人が出現するが、そのかたは東洋西洋の総ての思想と宗教を統一するかた”ということである。そのかたこそ、この地の学者たちが数千年前から待っていた「正道霊」である。

" 儒仏仙合一之道 三聖一体一人出 "

儒学者たちが待っている“正道霊”と、仏教信者が待っている“生弥勒仏”、基督教信者が待っている(基督教を西仙と称する)“メシア”この三人が各々違う人ではなく、一身で一人の人間の身を持って来られると言っているのである。

そうして、(上帝降臨、東半島)上帝が降臨し、東方の半島に来られるが、そのかたは“弥勒上帝”の“正道霊”である。生弥勒仏であり、玉皇上帝の正道霊である。

その一人の聖人は人間のような者が人間ではなく(似人不入)人間を超越した(人間超越霊人)霊人体である。末世に三つの道が合体し、一人の人間に定めて現れるのだ(未覆合一入定)と書かれている。

" 無疑東方 天聖出 若是東方無知聖 英米西人 更解聖 "

東方から天の聖人が出現することは疑い得ない事実だが、若し、東方でこの聖人を悟ることができなければ、英国や米国の西洋人たちの方がこの聖人について理解を示すだろう。

### 4. 甘露の実体

その一人の聖人は、即ち人間の不死永生を掲げて出現するが、その証として甘露が降ると言っている。

## 논 단

## 新文化運動と哲学

" 天牛耕田 田を耕し、永生之穀を植えて " (同書 " 牛鳴声 " の中で)

" 甘露如雨 呼吸するとき日就月長 自長し、..." (“七斗歌”の中から)

" 太古始皇 夢見た。不老草と不死薬が 弓乙の外では求められず 東海三神の不老薬は甘露如雨とは如何に、..." (“弓乙凶歌”の中から)

" 候王若能守之 万物将自賁 天地相合 以降甘露 民莫之令而自均 " (老子の道徳經三十二章)

君主が道を守ることができれば、天下万物は自ら客となって訪れ、天と地は相互相合して甘露を降らし、百姓たちは命令しなくても自らよく治められるのである。

多くの預言書には永生に続いて甘露が登場してくる。甘露は、“天下泰平の前兆として天から降る甘い露”と称しているが、仏教でも不老長生する露として知られている。

そこで預言書『鄭鑑録』として口伝している『格菴遺録』とは、どういう本で、どういう預言が伝えられているのか調べてみることにする。

### 三、『格菴遺録』解説

『格菴遺録』とは、朝鮮朝十三代明廟時代の天文学者で予言者であった格菴(南師古)先生の予言書で、その預言が余りにも具体的に的中するので有名である。

師古の号は格菴、またの号は敬菴で英陽の人である。明廟時代に朝宮社稷の参謀であったし、天文学の教授であった。少年時代に神人に会い秘訣を伝授され、風水と天文に俱に通曉した。公が正徳四年己巳年に生まれ、隆慶五年辛未年に死亡、六十三歳であった。近年、『格菴遺録』や『鄭鑑録』を自己流に解釈した本が出版されているが、その大半が部分的な字句解釈のみにとらわれ、預言書の大きな流れを汲み取れず抽象的な解釈に終始しているが、この預言書の中心の流れが不死永生を説く正道霊の出現を待望しているという事実が忘れられている。

乾牛坤馬牛性理 건우곤마우성리
和氣東風眞人出 화기동풍진인출
時好時好不再來 시호세호무재래
開目聽耳疾足入 개목청이질족입
中入此時今和日 중입차시금화일
出生入生不知亡 출사입생부지망
牛聲牛聲和牛聲 우성우성화우성
和氣東風萬邦吹 화기동풍만방취
隱惡揚善君子日 은악양선군자일
不知春日何望生 부지춘일하망생

건우(乾牛)는 천지비(天地否)이고 곤마(坤馬)는 지천태(地天泰)를 의미한다. 천지비는 하늘과 땅의 기운이 서로 소통이 되지 않음을 말하며 마귀가 하나님을 지배하여 생자필멸(生者必滅) 즉 우주 천지가 사망의 권세아래 놓여 있음을 뜻한다. 지천태는 하늘과 땅의 기운이 서로 잘 소통되며 조화롭게 됨을 의미하고 하나님

이라는予言で、壬辰倭乱当時の状況を正確に表現している。(宋は松の音をとって表現したもので、その意味は天氣流説なので隠したのだ。)

" 殺我者誰 雨下橫山 天不知 裏在其中 活我者誰 家上加冠 哥下止 樑底 "

我を殺す者は誰ぞや？ 雨の下に山を横にしているから雪である。その意である天氣も知らずや。我を生かす者は誰ぞや？ 家の上に冠をかぶせているから家である。

哥の下に止まるは 樑の下である。これは兵子胡乱時、多くの人が非難途中死ぬことや、非難せず家に止まっていた人たちは生きられるということをしらせているのだ(哥は、家の讀みかなの力音をとったものと思われる)。

" 殺我者誰 小頭無足 鬼不知 化在其中 活我者誰 三人一夕 都下止 天坡 "

この文中、小頭無足とは何ぞや？ これを称し原子爆弾とかミサイル、または病却とかに憶測しているが、小頭無足とは鬼のことである。鬼は鬼だが、その小さいものが頭上に座って左へ右へと動いているが、その足(正体)は知ることのできない奴である。即ち、死の要素は我が頭中に入っている“我”という意識であり、そ奴が我を殺す鬼神である。

1、予言書の驚くべき正確性

『格菴遺録』の主要部分を抜粋し解説することにする。

最もよく知られている壬辰倭乱と丙子胡乱に対する予言である。

" 殺我者誰 女人戴禾 人不知 兵在其中 活我者誰 十八加公 宋下止 深谷 "

我を殺す者は誰ぞや？ 女が禾を乗せているから倭人である。其の中に兵禍あるを人は知らず。我を生かす者は誰ぞや？ 十八に公を加え見るに松である。宋の下に止まるは深い谷である。

これは壬辰倭乱(秀吉の朝鮮侵略)を予言した文句である。倭人が兵乱を起こし人々を殺すが、中国、明の国の將軍、李如松が援軍を率いて撃退するようになる。宋の下に止まれば生きられるとは、深い谷に隠れれば生きられる

마귀를 멸하여 우주 천지가 불사영생(不死永生)의 천당 극락이 되는 것을 의미한다. 천지비에서 지천태로 바뀐, 마음속에서 천지개벽이 완성된, 성령으로 거듭난, 도통한 것이 우성의 이치이며 마귀를 이기신 삼위일체하나님을 모신 우성의 이치(泰善)으로 오셔서 전도관(傳道館)을 세워 우불선 삼도합일의 도를 6도 81궁 금운 정도령에게 전하는 것이다. 72궁의 천지공사는 이미 끝나고 지금은 마지막 6도 81궁 금운(金運)으로 오신 정도령(진인, 심승인)이 천지공사를 하고 계신다. 착할 선(善)자 그대로 선덕(善徳)을 쌓아 하나님과 같은 마음으로 거짓 없이 자연 그대로 깨끗하고 순진한 마음, 변함없는 마음을 가져야 하나니라.

乾牛坤馬牛性理 건우곤마우성리
和氣東風眞人出 화기동풍진인출
時好時好不再來 시호세호무재래
開目聽耳疾足入 개목청이질족입
中入此時今和日 중입차시금화일
出生入生不知亡 출사입생부지망
牛聲牛聲和牛聲 우성우성화우성
和氣東風萬邦吹 화기동풍만방취
隱惡揚善君子日 은악양선군자일
不知春日何望生 부지춘일하망생

건우(乾牛)는 천지비(天地否)이고 곤마(坤馬)는 지천태(地天泰)를 의미한다. 천지비는 하늘과 땅의 기운이 서로 소통이 되지 않음을 말하며 마귀가 하나님을 지배하여 생자필멸(生者必滅) 즉 우주 천지가 사망의 권세아래 놓여 있음을 뜻한다. 지천태는 하늘과 땅의 기운이 서로 잘 소통되며 조화롭게 됨을 의미하고 하나님

이라는予言で、壬辰倭乱当時の状況を正確に表現している。(宋は松の音をとって表現したもので、その意味は天氣流説なので隠したのだ。)

" 殺我者誰 雨下橫山 天不知 裏在其中 活我者誰 家上加冠 哥下止 樑底 "

我を殺す者は誰ぞや？ 雨の下に山を横にしているから雪である。その意である天氣も知らずや。我を生かす者は誰ぞや？ 家の上に冠をかぶせているから家である。

哥の下に止まるは 樑の下である。これは兵子胡乱時、多くの人が非難途中死ぬことや、非難せず家に止まっていた人たちは生きられるということをしらせているのだ(哥は、家の讀みかなの力音をとったものと思われる)。

" 殺我者誰 小頭無足 鬼不知 化在其中 活我者誰 三人一夕 都下止 天坡 "

この文中、小頭無足とは何ぞや？ これを称し原子爆弾とかミサイル、または病却とかに憶測しているが、小頭無足とは鬼のことである。鬼は鬼だが、その小さいものが頭上に座って左へ右へと動いているが、その足(正体)は知ることのできない奴である。即ち、死の要素は我が頭中に入っている“我”という意識であり、そ奴が我を殺す鬼神である。

1、予言書の驚くべき正確性

『格菴遺録』の主要部分を抜粋し解説することにする。

最もよく知られている壬辰倭乱と丙子胡乱に対する予言である。

" 殺我者誰 女人戴禾 人不知 兵在其中 活我者誰 十八加公 宋下止 深谷 "

我を殺す者は誰ぞや？ 女が禾を乗せているから倭人である。其の中に兵禍あるを人は知らず。我を生かす者は誰ぞや？ 十八に公を加え見るに松である。宋の下に止まるは深い谷である。

これは壬辰倭乱(秀吉の朝鮮侵略)を予言した文句である。倭人が兵乱を起こし人々を殺すが、中国、明の国の將軍、李如松が援軍を率いて撃退するようになる。宋の下に止まれば生きられるとは、深い谷に隠れれば生きられる

では、どうすれば生きられるのか？ 三人一夕とは修道せよということである。そうすれば天が堤防の役割をして、死に至らしめる小頭無足が侵犯できないと言う意味になる。\*

次の号に引き続き掲載

나간다. 악(惡)은 숨고 선(善)이 드러나니(악한 자는 죽고 선한 자는 사)는 군자의 세상이 오리라. 춘일을 모르고서야 어찌 살아나기를 바라겠는가? 춘일(春日)은 삼인일(三人日)로서 마귀를 이기신 삼위일체하나님이 성령의 빛을 뿌리며 나오시는 때이다. 삼인은 중천을 담당하신 세 분으로 5도 72궁(목운), 여인 한 분, 마지막 6도 81궁(금운)이다. 이 세 분이 모셨던 하나님! 81궁 정도령 속에서 일체를 이루어 삼위일체 하나님! 완성되었다. 여인으로 오시는 한 분은 여인이기 때문에 세상에 드러나서 천지공사를 하지 않는다. 불경에 미륵불 출현의 비밀은 이자삼점(伊字三點)에 있다고 한다. 즉 미륵불은 세 분으로 오시지만 마지막에 오시는 미륵불 속에서 일체를 이루어 죽음 없는 세상을 만든다는 것이다.\*

박명하 / 고서연구가
myunghpark23@naver.com 010-3912-5953

<p><b>당신을 영생의 세계로 안내하는 신문</b></p>
<p>성금계좌<span> </span>: 우체국 103747-02-134421 예금주<span> </span>: 이승우</p>
<p><b>승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다</b></p> <p><b>전국 각지에서 성금을 보내주신 분께 감사드립니다</b></p>
<p><b>승리신문</b></p> <p>1990.3.3 등록번호 다 - 0029</p>
<p>발행인 겸 편집인 김충만</p> <p>본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사랑함이 실제로 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는데 기여함을 목적으로 발행됩니다.</p>
<p>경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 우 14679</p> <p><b>홈페이지</b> www.victor.or.kr</p> <p><b>광고 및 구독신청</b> 전화 032) 343-9985 FAX 032) 349-0202</p>
<p>본지는 신문윤리강령 및 그 실천요강을 준수합니다.</p>